

学校改革!教職員の時間創造プロジェクト

ニューズレター ～働きやすい環境づくりのために～

2026年6月 Vo.2

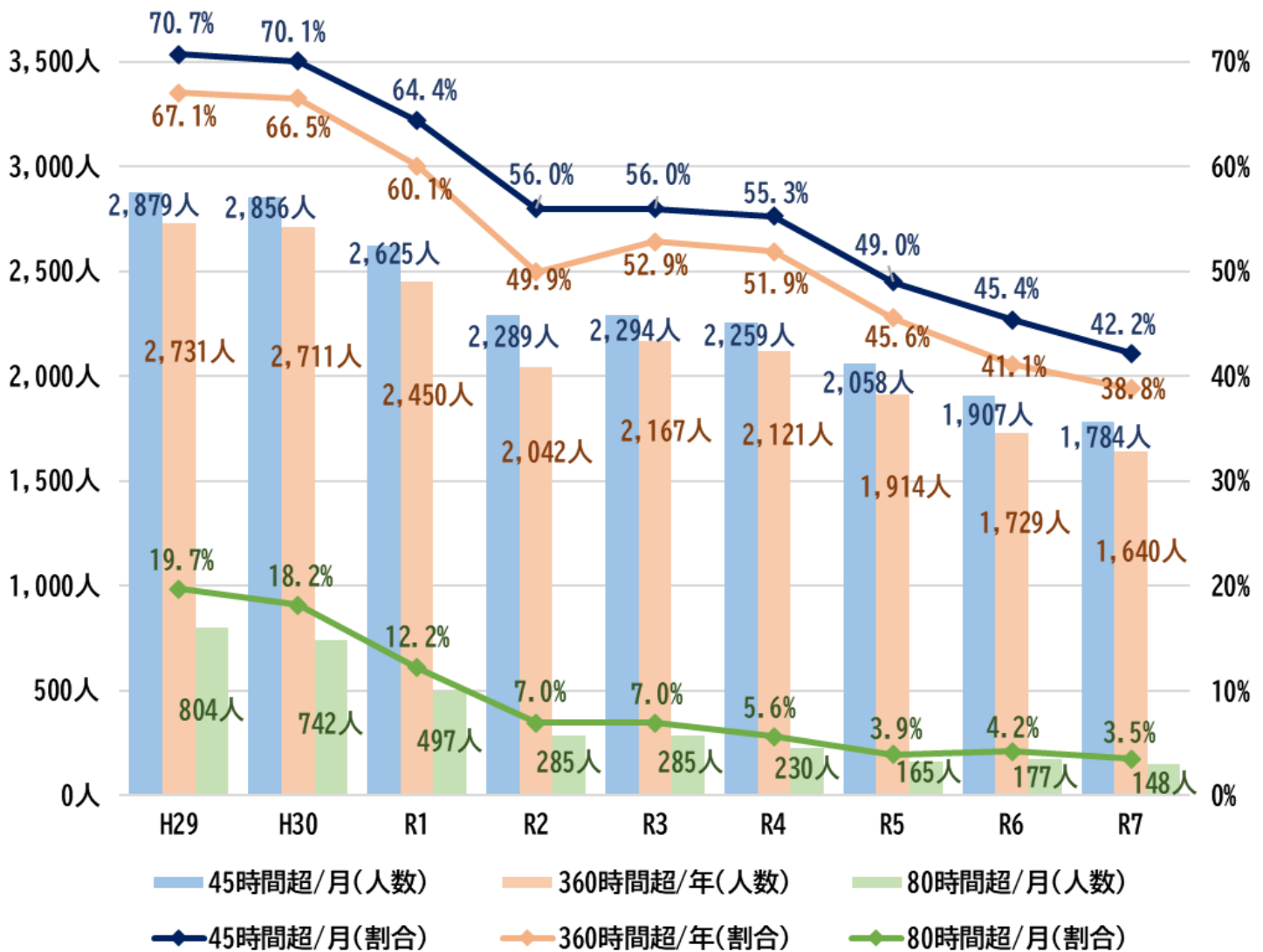
☆令和7年度 プログラム目標達成状況☆

在校等時間の削減に関する目標

【目標1】正規の勤務時間外の在校等時間が1か月45時間を超える教職員数0人

【目標2】正規の勤務時間外の在校等時間が1年間360時間を超える教職員数0人

【当面の目標】正規の勤務時間外の在校等時間が1か月80時間を超える教職員数0人



(実績)

【目標1】1か月45時間超え0人⇒1,784人 【目標2】1年間360時間超え0人⇒1,640人

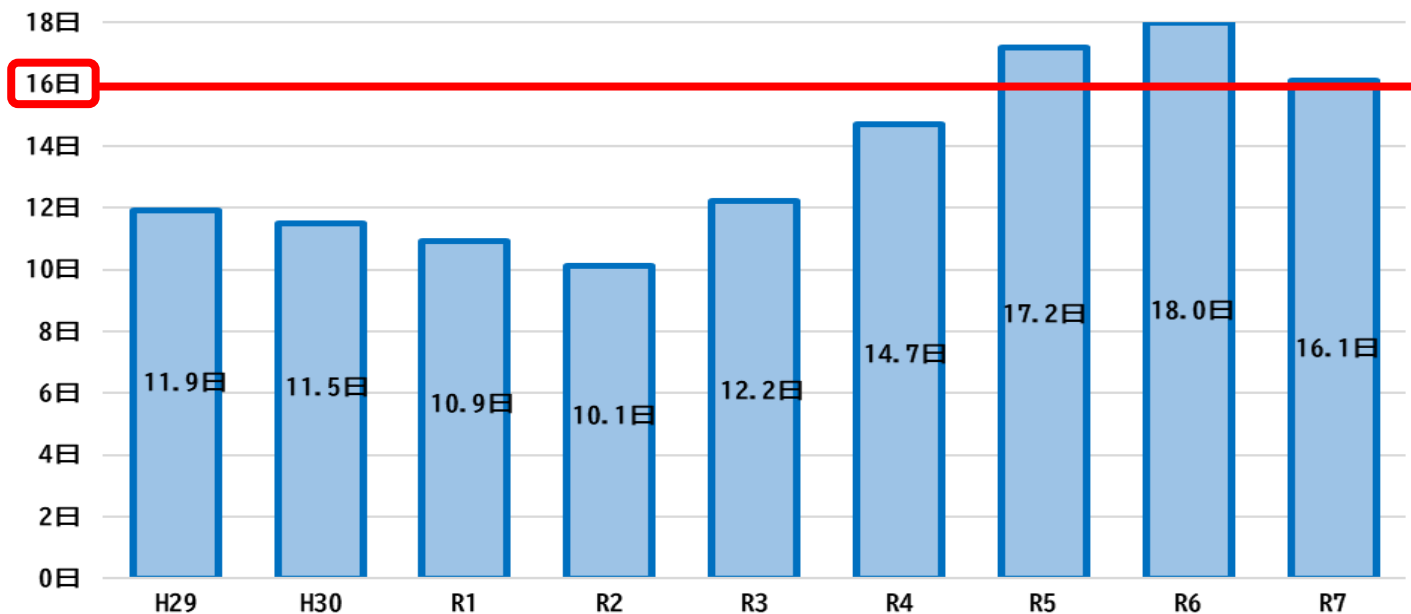
【当面の目標】1か月80時間超え0人⇒148人

上記のように在校等時間削減の目標は未達成でしたが、正規の勤務時間外の在校等時間は大きく減少し、各種取組の効果が表れています。

教育課程や日課の見直し、ICT活用、外国語専科教員配置(小学校)などにより、業務の効率化と負担軽減が進んできたようです。一方で、部活動改革や教頭業務の改善、学校事務の効率化、勤務制度の活用等、成果が見られますが課題が残るものもありました。

年休の取得に関する目標

【目標3】教職員1人あたりの年休の年間平均取得日数 **16日以上**



(実績)

【目標3】16日以上⇒16.1日

年休取得については、3年連続目標を達成しました。教育課程の工夫や学校閉庁日の増加、管理職による取得推進、教職員の意識の変化などが進み、増加したと考えられます。

また、休暇取得時期の変更による経過措置も取得増加に大きな影響があったようです。

☆令和8年度 第1回プロジェクト会議☆



令和8年度第1回「学校改革!教職員の時間創造プロジェクト会議」を、5月21日(木)に教育センターで開催しました。校長、園長、教頭、主幹教諭、教諭、事務職員、養護教諭、栄養教諭それぞれの代表者に加え、教育委員会各課の代表者が集まりました。

当日は、令和7年度の実績報告、「教職員の働き方改革に向けたアンケート」の結果報告、4月から実施されている第3期プログラムの目標と現状確認、各課からの取組報告等を行いました。

今年度は、分科会を設置し、それぞれの職種で取り組む内容を協議していきます。

令和7年度の実績、「教職員の働き方改革に向けたアンケート」結果は、熊本市ホームページに掲載していますので、ご確認ください。

